

## 社説

鳥取市は医療看護専門学校  
の誘致に取り組み、大阪市の  
学校法人が2015年4月の  
開校を目指して準備を進めて  
いる。地元で学び地元で働く  
道を開くもので、医療、学校  
関係者からの期待も大きい。  
県東部の看護体制の充実も  
もちろん、地域医療の在り方を  
考える契機としたい。

開設するのは、学校法人大  
阪滋慶学園。JR鳥取駅前の  
市有地に6階建ての校舎を建  
設。総事業費は約13億円(国、  
市の補助含む)を見込む。21  
日に現地で地鎮祭を行う。

悪循環に歯止めを  
鳥取県内の医療機関は看護  
師、リハビリ専門職が慢性的

に不足し、経営にも影響して  
いる。在宅医療の現場もそう  
だ。一方で、看護師も過重勤

## 鳥取市医療看護専門学校

## 地域医療考える契機に

の仕事にしたいと考えてい  
る(鳥取商高)。ところが、  
県内に進学先が不足している  
ため、県外に出てしまう。学  
費以外にも生活費がかかり、  
経済的負担は大きい。  
卒業後は地元で働きたいと

の現場でも人材の充実に期待  
する。  
計画では、1学年の定員は  
200人で、3年制の看護学  
科(80人)、理学療法士学科  
(40人)、作業療法士学科(同)  
のほか、大卒のみで2年制の  
言語聴覚士学科(40人)を設  
ける。  
看護学科では3年間で正看

で正看護師の資格が取れるよ  
うなことを考えている(常  
務理事)という。また、就職  
支援のため学校にキャリアセ  
ンターを設ける方針だ。  
法人は開設にあたって、地  
元の病院や医師会、関係する  
職能団体との連携を大事にし  
ていく考えだ。県病院協会東  
部支部では「地域医療を考え  
横の連携強化につながるも  
の」と歓迎する。

務による離職が相次ぐ。県看  
護協会は「精神的にも肉体的  
にもストレスが大きい。結婚  
や出産で続けられず、辞めて  
しまふ」と現状を指摘する。  
半面、県内では医療・看護  
系への進学を希望する高校生  
が多く、県東部ではその傾向  
が強い。「地域や人のために  
働きたい。資格を取って生涯

の志向も強いが、県外での実  
習先で就職してしまふケース  
が多いという。悪循環である。  
医療看護専門学校の誘致は  
鳥取市が積極的に取り組むも  
ので、「地域医療を支える効  
果は絶大」(竹内功市長)と  
している。県看護協会は地域  
の看護力アップ、県東部医師  
会は訪問看護や訪問リハビリ

看護師の受験資格が取れる。  
地域全体で支援を  
一方、准看護師の資格を持  
った人が正看護師を目指し  
らに学んだり、一度離れた人  
の再就職を支援するような  
「進学コース」の開設を望む  
声もある。  
この点について法人側は  
「(開校後に)夜間の2年間

市民の医療・福祉への関心  
は高く、中山間地などでも等  
しくサービスが受けられる体  
制づくりが急務だ。チーム医  
療・介護が求められる中、高  
い基礎能力を持った看護師や  
リハビリ専門職が必要とされ  
る。地域が一体となって学生  
を支援し、県東部の医療・看  
護体制を充実していきたい。